



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年 弥生18日

第23号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

「河口から大海原へ・・・！」 第74回卒業証書授与式



3月13日(土)、例年とは異なり2年生が教室でリモートでの参加となりましたが、来賓のみなさまや保護者のみなさまに見守られながら、**第74回卒業証書授与式**が挙行されました。

三年間、仲間とともに学び、たくさんの思い出をつくれた学舎を、別れを惜しみながらも全員が胸を張って巣立っていきました。万感の思いを胸に歌った「河口」は、感謝や決意に満ちあふれ、会場を感動でつつみ込みました。卒業生代表の答辞の一部を紹介します。



答 辞 (一部抜粋)

大原中学校での経験を通して、私たちは、「**仲間**」という宝物を見つけ、**新しい一歩を踏み出す勇氣**を得ることができました。

どんな時も私たちを支え、応援してくれた人たちがいたおかげで三年間の中学校生活を、乗り越えることができました。私は、支え合うことの大切さを改めて感じています。

様々な困難をともに乗り越え、本音で語り合うことのできた仲間たち。私は、ここにいる仲間と三年間を過ごせて幸せでした。当たり前のように毎日顔を合わせていた人たちと、当たり前のように会える日は今日が最後となってしまいました。私たちは、大原中学校から自らが選んだそれぞれの道へと飛び立ちます。その道の途中で慣れないことに戸惑ったり、迷ったりすることもあるでしょう。けれども、この三年間大原中学校で**頑張ることができたという誇りと、苦しみも喜びも共に味わってきた仲間の存在、そして、決して一人ではないという思いを胸に、前を向いて新たな道へと、進んでいきたいです。**

在校生の皆さん、今まで私たちについてきてくれてありがとう。大原中学校の先輩方が築き上げてきた伝統ある大原文化を受け継ぎ、一日一日を大切にどんな時も**仲間と支えあいながら仲間とともに前進**していただください。そして、みなさんらしい大原中学校をつくり上げていってください。

最後に、今まで支えてくださったすべての人への感謝を忘れず、人生という長い旅路を前向きに歩いていくことを誓い、別れの言葉とさせていただきます。

第74回卒業生代表

子どもたちの成長は、保護者のみなさま、地域のみなさまに温かく見守っていただいた賜であると、深く感謝申し上げます。中学校を卒業しても、この地域で成長していく子どもたちに、今後も今までと変わらないご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

「令和3年の一番桜は、弥生10日でした！」

「例年とは異なり・・・」と何度言ったことでしょうか。でも、季節は「例年の通り」移ろい、日射しの柔らかさや風の暖かさに春の訪れが感じられます。校庭の桜の木も、3月に入ると、日に日に枝の先のつぼみが膨らんでいくのがわかりました。

毎年だんだん早くなっている桜の開花時期ですが、今年は、なんと卒業式より前にコンテナ室の北側にある桜の木が開花しているのをみつけました。

県公立高入試当日でしたので、**かいっぱい合格祈願**をしました。



「仲間との思い出づくり！」 2年生校外学習 グリーンランドへ

3月10日（水）、絶好の好天に恵まれた春の一日、2年生が校外学習として三井グリーンランドにでかけました。修学旅行の実施について年度内は見送る決断をしましたが、**なんとか子どもたちの思い出をつくることできないか**と考えてこの校外学習を設定しました。

久しぶりに学校に入ってきた大型バスに乗り、みんな笑顔で出発していきました。

写真に写る子どもたちの顔はすべて、みんなはじけるような笑顔で、**仲間とのかけがえのない時間**を過ごすことができたと感じております。

「風化させてはならない平和への願い！」

1年生 平和学習 大刀洗平和記念館見学

3月10日（水）、1年生は平和体験学習として、大刀洗平和記念館の見学にでかけました。

「大刀洗空襲を語りつくす会」の先生による事前指導を受けた子どもたちは、当日、自分なりの思いや考えをもってバスに乗りこみました。

まず、記念館で、数々の資料をもとにした説明や映像を通して学んだあとに、車窓からでしたが、掩体壕（えんたいごう）や飛行場跡等を見まわりました。

子どもたちは、**決して忘れてはならない戦争の悲惨さや平和であることの貴さ、そして命の大切さ**を学ぶことができたと思います。

戦争を知らない世代に、何とか語り伝えていきたいと、制限のある中、子どもたちに向き合ってくださいました石川先生に、また、子どもたちの学びをサポートするために配慮していただいたバスの運転手のみなさんに心から感謝申し上げます。

小さいけれど大きな感動・・・その24

「卒業式を飾った地域の思い・・・！」



制限された中で挙行された第74回卒業式。式典会場の一角に飾られた「**ありがとうの花束**」が目にとまりました。これは、子どもたちから友だちや先生、支えていただいた保護者のみなさま、地域のみなさまに対しての感謝の言葉を集めたものです。

感染予防対策のため、ほとんどの行事が制限された中で、「**子どもたちのために何かできないか**」と考え抜いて取り組んでいただいたものです。

式にお迎えすることはできませんでしたが、お世話になったたくさんの地域のみなさまから応援していただいていることをあらためて実感することができました。

春の朝 子らの成長 願いつつ

あふれる思い 言葉にたくす

晴一